令和7年度 (2025年度)

斜里町水道事業

水質検査計画書

水質検査計画とは

- ・水質検査は、水質基準に適合していることを確認するため不可欠なものです。
- ・水質検査計画は、水質検査の適正化を確保するために、検査項目等を定めたものです。
 - 1. 基本方針
 - 2. 水道事業の概要
 - 3. 原水及び浄水の水質状況及び水質管理上の問題点
 - 4. 水質検査項目及び検査頻度、採水点及びその理由
 - 5. 臨時の水質検査
 - 6. 試料採取及び運搬方法
 - 7. 委託した検査の実施状況の確認方法
 - 8. 水質検査の方法
 - 9. 水質検査計画及び検査結果の公表
- 10. その他

1. 基本方針

- 1. 水質検査は、水質基準が適用される蛇口に加え、水源も行います。
- 2. 検査項目は安全及び法令を充分考慮して選定いたします。
- 3. 検査頻度は安全及び法令を充分考慮して定めます。
- 4. 水源に汚染等がおこらないよう常時監視をおこないます。

2. 水道事業の概要

(1) 給水状況

給水状況は、下記の通りです。

区分	内容
事業体の名称	• 斜里町水道事業
給 水 区 域	・斜里町市街及びウトロ市街 (25.2 k m²)
	・斜里町上水道13,200人(令和6年度末給水人口8,012人)
計画給水人口	・ウトロ簡易水道1,280人(令和6年度末給水人口973人)
	・斜里町上水道 8,000m³
┃ ┃ 計画1日最大給水量	(令和6年度実績1日最大給水量7,521 m³)
而四 I 自	・ウトロ簡易水道 3,300m³
	(令和6年度実績1日最大給水量1,994㎡)
	・斜里町上水道 令和6年度実績4,051 m ³
1 日 平 均 給 水 量	・ウトロ簡易水道 令和6年度実績957㎡

(2) 浄水施設

斜里町水道事業には浄水場が2カ所有ります。

		_ , ,,,,		77,000
浄	水	場	名	・来運浄水場
通	水	年	度	昭和36年度
水			源	・猿間川支流フカバ川湧水
主	な給	水 区	域	・斜里市街地
主力	な浄水	処理	方法	・塩素消毒
主力	な浄水	処理	菓 品	・消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム)

浄	水	場	名	・ウトロ浄水場
通	水	年	度	・昭和39年度
水			源	・ペレケ川表流水
主	な給	水 区	域	・ウトロ市街地
主	な浄水	処理力	方法	・膜ろ過
			÷ 🖂	・凝集剤(ポリ塩化アルミニウム)
王.	主な浄水処理薬			・消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム)

3. 原水及び浄水の水質状況及び水質管理上の問題点

原水の状況

(1) 原水水質で留意すべき状況

次表に示す。

浄		水		場		名	・来運浄水場
原	水	\mathcal{O}	汚	染	要	因	・流域田畑で使用されている農薬
							・農薬類
1 5	5 66 JE		. .)	a 3-	~T =		・窒素・リン
水質管理上注意すべき項目			・クリプトスポリジウム				
							・硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素
浄水場使用薬品及び資機材から		ら	・臭素酸(次亜塩素酸ナトリウムに不純物として含				
の由来で注意すべき項目		1	有する)				

浄	-	水		場		名	・ウトロ浄水場
				・有機物質等によるトリハロメタンの上昇			
l est			-	・降雨等による濁水の発生			
原	水	\mathcal{O}	汚	染	要	因	・生活排水
							・流域田畑で使用されている農薬
							・トリハロメタン
							・農薬類
1. 55	≈ <i>6</i> -6	1 1 7/2	<u>ب</u> بر	L	사 구조 I	-	・濁度・色度
水質	管理	上上	上意		き垻し	∄	・クリプトスポリジウム
				・窒素・リン			
							・生物
							・臭素酸(次亜塩素酸ナトリウムに不純物として含
浄水場使用薬品及び資機材から				が資機	網か	5	有する)
の由	の由来で注意すべき項目			項目	1	・アルミニウム及びその化合物(ポリ塩化アルミ	
							二ウムを使用)

(2) 水道水の状況 (浄水)

今までの水質検査結果から、水質基準を十分満足しており、安全で良質な水をお届けしております。

4. 水質検査項目及び検査頻度、採水点及びその理由

(適用範囲) 来運浄水場系統

(適用期間) 令和7年4月1日~令和8年3月31日

- (1) 水質基準が適用される(浄水) 水質検査項目と検査頻度
- 1. 水質檢查項目

法令に基づく水質検査表(1)蛇口において水質基準項目(51項目)の水質検査を行います。なお、法令に基づく水質検査表(2)の1日1回行う検査についても検査を行います。

2. 検査頻度

検査頻度の決定については、水道法施行規則第15条第1項の3により行いました。 ア 法令に基づく水質検査表(1)のうち、濃度が1/10以下の場合3年に1 回まで緩和することができる項目ついても水質が安定し良好であることを確認するため51項目すべての検査を年1回行います。

- イ 法令に基づく水質検査表(1)の項目1,2,11,34,38,46~51の 検査は、毎月(1回はアに含む)行います。(一般検査)
- ウ 法令に基づく水質検査表(1)の項目10,21~31の検査は、年4回(1 回はアに含む)行います。(消毒副生成物検査)
- エ 法令に基づく水質検査表 (1) の項目 40の検査は、性状確認のため年4回 (1回はアに含む) 行います。
- オ より安全な水を供給するため、管理目標設定項目検査項目表(3)の内、項目 10,12,13,14,23,28,31の検査を年1回行います。
- カ 法令に基づく水質検査表(2)の色、濁り、消毒の残留塩素効果(残留塩素) の検査は1日1回行います。

(2) 原水の水質検査項目と検査頻度

1. 水質検査項目

法令に基づく水質検査表(1)において水質基準項目のうち厚生労働省課長通知に 基づき消毒副生成物21~31を除く40項目の水質検査を行います。

- 2. 検査頻度
 - ア 法令に基づく水質検査表の(1)の項目40項目は年1回行います。
 - イ 法令に基づく水質検査表の(1)の項目1,2,11,34,38,46~51の 検査は、毎月(1回はアに含む)行います。(一般検査)
 - ウ クリプトスポリジウム等指標菌検査(大腸菌数・嫌気性芽胞菌数) を冬期間 を除く4月~12月までの間一月おきに行います(年5回)。
 - エ クリプトスポリジウム及びジアルジアの検査を夏期に年1回行います。

- (適用範囲) ウトロ浄水場系統
- (適用期間) 令和7年4月1日~令和8年3月31日
- (1) 水質基準が適用される(浄水)水質検査項目と検査頻度
- 1. 水質検査項目

法令に基づく水質検査表(1)蛇口において水質基準項目(51項目)の水質検査を行います。なお、法令に基づく水質検査表(2)の1日1回行う検査についても検査を行います。

2. 検査頻度

検査頻度の決定については、原則頻度のとおり行いました。

- ア 法令に基づく水質検査表 (1) のうち、濃度が1/10以下の場合3年に1 回まで緩和することができる項目ついても水質が安定し良好であることを確認するため51項目すべての検査を年1回行います。
- イ 法令に基づく水質検査表(1)の項目1,2,11,34,38,46~51の 検査は、毎月(1回はアに含む)行います。(一般検査)
- ウ 法令に基づく水質検査表(1)の項目10,21~31の検査は、年4回 (1回はアに含む)行います。(消毒副生成物検査)
- エ 法令に基づく水質検査表 (1) の項目 40の検査は、性状確認のため年4回 (1回はアに含む) 行います。
- オ より安全な水を供給するため、管理目標設定項目検査項目表(3)の内、項目 10,12,13,14,23,28,31の検査を年1回行います。
- カ 法令に基づく水質検査表(2)の色、濁り、消毒の残留塩素効果(残留塩素) の検査は1日1回行います。

(2)原水の水質検査項目と検査頻度

1. 水質検査項目

法令に基づく水質検査表(1)において水質基準項目のうち厚生労働省課長通知に 基づき消毒副生成物21~31を除く40項目の水質検査を行います。

2. 検査頻度

- ア 法令に基づく水質検査表の(1)の項目40項目は年1回行います。
- イ 法令に基づく水質検査表の(1)の項目1,2,11,34,38,46~51の 検査は、毎月(1回はアに含む)行います。(一般検査)
- ウ クリプトスポリジウム指標菌検査(大腸菌数・嫌気性芽胞菌数)を年1回行います。
- エ クリプトスポリジウム及びジアルジアの検査を年1回行います。

法令に基づく水質検査表 水質検査表(1)水質基準

	項目	基 準 値	原 則 頻度	法的検査回数減	項目の概要	
1	一般細菌	100個/ml	月1回	B.4.E.	. 亡 压 微 上 地	
2	大腸菌	不検出	7	月1回	病原微生物	
3	カドミウム及びその化合物	0.003				
4	水銀及びその化合物	0.0005	1			
5	セレン及びその化合物	0.01	1	│一定要件を満たす場 │合は年1回以上又は3	A = 167	
6	鉛及びその化合物	0.01	1	年に1回以上に減じる	金属類	
7	ヒ素及びその化合物	0.01	年4回	ことができる。		
8	六価クロム化合物	0.02	1	*		
9	亜硝酸態窒素	0.04	1		無機物	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01	年4回	年4回	無機物質·消毒副生成物	
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10	T			
	フッ素及びその化合物	0.8	†		無機物	
	ホウ素及びその化合物	1	1		7111 122 173	
	四塩化炭素	0.002	1	│一定要件を満たす場 │合は年1回以上又は3		
	1,4-ジオキサン	0.05	1	年に1回以上に減じる		健
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2 -ジクロロエチレン	0.04		ことができる。 *		康に関する項目
17	ジクロロメタン	0.02	年4回		有機物	す
18	テトラクロロエチレン	0.01	1			る
19	トリクロロエチレン	0.01	†			項
	ベンゼン	0.01	1			
	塩素酸	0.6				
	クロロ酢酸	0.02	1			
	クロロホルム	0.06	1			
	ジクロロ酢酸	0.03	1			
	ジブロモクロロメタン	0.1	+			
			年4回	年4回	 消毒副生成物	
	総トリハロメタン	0.1	┤ ' ' ' ' '	' '	/月毋町工/以初	
	トリクロロ酢酸	0.03	+			
	ブロモジクロロメタン	0.03	+			
	ブロモホルム	0.09	+			
	ホルムアルデヒド	0.08	-			
	亜鉛及びその化合物	1				
	アルミニウム及びその化合物	0.2	-			
	鉄及びその化合物	0.3	+	一定要件を満たす場	金属類	
	銅及びその化合物	1	年4回	合は年1回以上又は3 年に1回以上に減じる		
	ナトリウム及びその化合物	200		ことができる。 *	無機物	
1	マンガン及びその化合物	0.05	+		金属類	\dashv
	塩化物イオン	200	月1回	月1回	その他	-
	塩に初イオン カルシウム・マグ・ネシウム等(硬度)	300	고내	月1日 一定要件を満たす場	無機物	\dashv
	蒸発残留物	500	┨.	合は年1回以上又は3	その他	\dashv
	然光代音物 陰イオン界面活性剤	0.2	年4回	年に1回以上に減じる	COIB	+
	ジェオスミン *	0.00001	藻の発	ことができる。 *	-	性
	2-メチルイソボルネオール *		生時期 月1回	藻の発生時期 月1回		状
		0.00001	月1回 月1回 一定要件を満たす場		有機物	関
	非イオン界面活性剤 フェノール類	0.02	年4回	一定要件を満たす場 合は年1回以上又は3 年に1回以上に減じる		世状に関する項目
				ことができる。 *		┙目
	有機物(TOC)	3	_			-
	pH値	5.8~8.6	_			
48	味	異常でない]		その他	
49	臭気	異常でない	月1回	月1回		
	色度	5度		71.12		
50	<u> </u>	0/2				- 1

^{*} 基準値の1/10以下で原水に変動がない場合は、3年に1回、1/5以下の場合は年1回。 水質検査表(2)1日1回行う検査

,,,—		
	1日1回行う検査項目	評価
1	色	異常なし
2	濁り	異常なし
3	消毒の塩素効果(残留塩素)	0. 1mg∕I以上

管理目標設定項目検査項目表(3)

項 目 標値 1 アンチモン及びその化合物 アンチモンの最に関して、0.02mg/1以下(暫定) 3 ニッケル及びその化合物 ニッケルの量に関して、0.02mg/1以下(暫定) - 削除 ニッケルの量に関して、0.02mg/1以下 - 削除 ニッケル砂砂ジエチルへキシル 0.6mg/1以下 1以下 10亜塩素酸 0.6mg/1以下 13ジクロロアセトニトリル 0.0mg/1以下(暫定) 14検水クロラール 0.0mg/1以下(暫定) 15機業類 検出値と目標値の比の和として、1以下 16機工業類 1mg/1以下 17カルシウム、でが炒り等(硬度) 10mg/1以上100mg/1以下 18マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0.01mg/1以下 19遊離炭酸 20mg/1以下 201、1、1・トリクロロエタン 0.3mg/1以下 21メチル・セーブチルエーテル (MTBE) 0.02mg/1以下 22有機物等(過ペが)が酸がりが消費量) 3mg/1以下 25満度 1度以下 26pH値 7.5程度 27腐食性 (ランゲリア指数) 一程度以上とし、極力のに近づける 1m1中の検水で形成される集落数が 2,000以下(暫定)	日在日际队几项目恢且项目及(3)	□ +== !±
2 ウラン及びその化合物 ウランの量に関して、0.002mg/1以下(暫定) 3 ニッケル及びその化合物 ニッケルの量に関して、0.02mg/1以下 一 削除 0.004mg/1以下 5 1,2-ジクロロエタン 0.004mg/1以下 一 削除 - 8 トルエン 0.4mg/1以下 9 フタル酸ジエチルヘキシル 0.08mg/1以下 10 亜塩素酸 0.6mg/1以下 - 削除 - 12 二酸化塩素 0.6mg/1以下(暫定) 14 抱水クロラール 0.02mg/1以下(暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1以下 16 残留塩素 1mg/1以下 17 カルシウム、マケネウム等(硬度) 10mg/1以下 18 マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0.01mg/1以下 20 1, 1, 1-トリクロロエタン 0.3mg/1以下 21 メチルー・エブチルエーテル (MTBE) 0.02mg/1以下 22 有機物等(過心が)を助り入消費量) 3mg/1以下 23 臭気強度(TON) 3以下 24 蒸発残留物 3 0mg/1以上200mg/1以下 25 濁度 1度以下 26 pH値 7.5程度 27 腐食性(ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力のに近づける		
3 ニッケル及びその化合物 ニッケルの量に関して、0.02mg/1以下 - 削除 0.004mg/1以下 - 削除 - - 削除 - 8 トルエン 0.4mg/1以下 9 フタル酸ジエチルヘキシル 0.08mg/1以下 10 亜塩素酸 0.6mg/1以下 - 削除 - 12 二酸化塩素 0.6mg/1以下(暫定) 14 抱水クロラール 0.02mg/1以下(暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1以下 16 残留塩素 1mg/1以下 17 カルシウム、マゲ ギウム等 (硬度) 10mg/1以上100mg/1以下 18 マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0.01mg/1以下 20 1, 1, 1-トリクロロエタン 0.3mg/1以下 21 メチルー・-ブチルエーテル (MTBE) 0.02mg/1以下 22 有機物等 (過マンガン酸がリム消費量) 3mg/1以下 23 臭気強度 (TON) 3以下 24 蒸発残留物 30mg/1以上200mg/1以下 25 濁度 1度以下 26 pH値 7.5程度 27 腐食性 (ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力のに近づける		
- 削除	2 ウラン及びその化合物	ウランの量に関して、0.002mg/1以下(暫定)
51,2-ジクロロエタン 0.004mg/1以下 - 削除 - 8 トルエン 0.4mg/1以下 9 フタル酸ジエチルヘキシル 0.08mg/1以下 10 亜塩素酸 0.6mg/1以下 - 削除 - 12 二酸化塩素 0.6mg/1以下 13 ジクロロアセトニトリル 0.01mg/1以下(暫定) 14 抱水クロラール 0.02mg/1以下(暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1以下 16 残留塩素 1mg/1以下 17 カルシウム、マグネシウム等(硬度) 10mg/1以上100mg/1以下 18 マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0.01mg/1以下 20 mg/1以下 0.3mg/1以下 20 l, 1, 1-トリクロロエタン 0.3mg/1以下 21 メチルーtーブチルエーテル (MTBE) 0.02mg/1以下 22 有機物等(過マンガンをかりりみ消費量) 3mg/1以下 23 臭気強度 (TON) 3以下 24 蒸発残留物 30mg/1以上200mg/1以下 25 濁度 1度以下 26 pH値 7.5程度 27 腐食性 (ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力0に近づける	3 ニッケル及びその化合物	ニッケルの量に関して、0.02mg/1以下
一削除 - 8 トルエン 0. 4 m g / 1 以下 9 フタル酸ジエチルヘキシル 0. 0 8 m g / 1 以下 10 亜塩素酸 0. 6 m g / 1 以下 - 削除 - 12 二酸化塩素 0. 6 m g / 1 以下 (暫定) 14 抱水クロラール 0. 0 2 m g / 1 以下 (暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1 以下 16 残留塩素 1 m g / 1 以下 17 カルシウム、マグネシウム等 (硬度) 1 0 mg/1以上1 0 0 m g / 1 以下 18 マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0. 0 1 m g / 1 以下 20 1, 1, 1-トリクロロエタン 0. 3 m g / 1 以下 21 メチルー・プチルエーテル (MTBE) 0. 0 2 m g / 1 以下 22 有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量) 3 m g / 1 以下 23 臭気強度 (TON) 3 以下 24 蒸発残留物 3 0 mg/1以上200 m g / 1 以下 25 濁度 1 度以下 26 p H値 7.5 程度 27 腐食性 (ランゲリア指数) - 1程度以上とし、極力のに近づける	一 削除	
一削除 - 8 トルエン 0. 4 m g / 1 以下 9 フタル酸ジエチルヘキシル 0. 0 8 m g / 1 以下 10 亜塩素酸 0. 6 m g / 1 以下 一削除 - 12 二酸化塩素 0. 6 m g / 1 以下 (暫定) 14 抱水クロラール 0. 0 2 m g / 1 以下 (暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1 以下 16 残留塩素 1 m g / 1 以下 17 カルシウム、マゲネ沙小等 (硬度) 1 0 m g / 1 以下 18 マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0. 0 1 m g / 1 以下 20 m g / 1 以下 0. 3 m g / 1 以下 201,1,1-トリクロロエタン 0. 3 m g / 1 以下 21 メチルー・ブチルエーテル (MTBE) 0. 0 2 m g / 1 以下 22 有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量) 3 m g / 1 以下 23 臭気強度 (TON) 3 以下 24 蒸発残留物 3 0 m g / 1 以 上 2 0 0 m g / 1 以 下 25 濁度 1 度以下 26 p H値 7. 5 程度 27 腐食性 (ランゲリア指数) 一1程度以上とし、極力のに近づける	5 1, 2-ジクロロエタン	0.004mg/1以下
8 トルエン 0. 4 m g / 1 以下 9 フタル酸ジエチルヘキシル 0. 0 8 m g / 1 以下 10 亜塩素酸 0. 6 m g / 1 以下 - 削除 - 12 二酸化塩素 0. 6 m g / 1 以下 13 ジクロロアセトニトリル 0. 0 1 m g / 1 以下 (暫定) 14 抱水クロラール 0. 0 2 m g / 1 以下 (暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1 以下 16 残留塩素 1 m g / 1 以下 17 カルシウム、マグ ジウム等 (硬度) 1 0 mg/1以上1 0 0 m g / 1 以下 18 マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0. 0 1 m g / 1 以下 19 遊離炭酸 2 0 m g / 1 以下 20 1, 1, 1-トリクロロエタン 0. 3 m g / 1 以下 21 メチルー t - ブチルエーテル (MTBE) 0. 0 2 m g / 1 以下 22 有機物等 (過マンカ ン酸カリウム消費量) 3 m g / 1 以下 23 臭気強度 (TON) 3 以下 24 蒸発残留物 3 0 mg/1以上 2 0 0 m g / 1 以下 25 濁度 1 度以下 26 p H値 7. 5 程度 27 腐食性 (ランゲリア指数) - 1 程度以上とし、極力 0 に近づける	一削除	_
9 フタル酸ジエチルヘキシル 0.08mg/1以下 10 亜塩素酸 0.6mg/1以下 - 削除 - 12 二酸化塩素 0.6mg/1以下 13 ジクロロアセトニトリル 0.01mg/1以下(暫定) 14 抱水クロラール 0.02mg/1以下(暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1以下 16残留塩素 1mg/1以下 17 カルシウム、マグネシウム等(硬度) 10mg/1以上100mg/1以下 18マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0.01mg/1以下 19遊離炭酸 20mg/1以下 201,1,1-トリクロロエタン 0.3mg/1以下 21メチルーセーブチルエーテル (MTBE) 0.02mg/1以下 22有機物等(過マンカ・ン酸カリウム消費量) 3mg/1以下 23臭気強度(TON) 3以下 24蒸発残留物 30mg/1以上200mg/1以下 25濁度 1度以下 26pH値 7.5程度 27腐食性(ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力0に近づける	一削除	_
10 亜塩素酸 0.6 mg/1以下 - 削除 - の.6 mg/1以下 12 二酸化塩素 0.6 mg/1以下(暫定) 14 抱水クロラール 0.0 2 mg/1以下(暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1以下 16 残留塩素 1 mg/1以下 17 カルシウム、マケージウム等(硬度) 1 0 mg/1以上100 mg/1以下 18 マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0.01 mg/1以下 19 遊離炭酸 2 0 mg/1以下 20 1, 1, 1-トリクロロエタン 0.3 mg/1以下 21 メチル・セーブチルエーテル(MTBE) 0.0 2 mg/1以下 22 有機物等(過マンカーン酸カリウム消費量) 3 mg/1以下 23 臭気強度(TON) 3以下 24素発発留物 3 0 mg/1以上200 mg/1以下 25 濁度 1 度以下 26 p H値 7.5程度 27 腐食性(ランゲリア指数) - 1程度以上とし、極力0に近づける	8トルエン	0.4mg/1以下
一削除 一 12 二酸化塩素 0.6 mg/1以下 13 ジクロロアセトニトリル 0.0 1 mg/1以下 (暫定) 14 抱水クロラール 0.0 2 mg/1以下 (暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1以下 16 残留塩素 1 mg/1以下 17 カルシウム、マグ・ジウム等 (硬度) 1 0 mg/1以上100 mg/1以下 18 マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0.01 mg/1以下 19 遊離炭酸 20 mg/1以下 201,1,1-トリクロロエタン 0.3 mg/1以下 21 メチルー tーブチルエーテル (MTBE) 0.0 2 mg/1以下 22 有機物等 (過マンカ・ン酸カリウム消費量) 3 mg/1以下 23 臭気強度 (TON) 3以下 24 蒸発残留物 3 0 mg/1以上200 mg/1以下 25 濁度 1 度以下 26 pH値 7.5程度 27 腐食性 (ランゲリア指数) 1 程度以上とし、極力0に近づける	9 フタル酸ジエチルヘキシル	0.08mg/1以下
12 二酸化塩素 0.6 mg/1以下 13 ジクロロアセトニトリル 0.0 1 mg/1以下 (暫定) 14 抱水クロラール 0.0 2 mg/1以下 (暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1以下 16 残留塩素 1 mg/1以下 17 カルシウム、マグネシウム等 (硬度) 1 0 mg/1以上100 mg/1以下 18 マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0.01 mg/1以下 19 遊離炭酸 2 0 mg/1以下 20 1, 1, 1-トリクロロエタン 0.3 mg/1以下 21 メチル- t -ブチルエーテル (MTBE) 0.0 2 mg/1以下 22 有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量) 3 mg/1以下 23 臭気強度 (TON) 3以下 24 蒸発残留物 3 0 mg/1以上200 mg/1以下 25 濁度 1 度以下 26 pH値 7.5程度 27 腐食性 (ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力0に近づける	10 亜塩素酸	0.6mg/1以下
13 ジクロロアセトニトリル 0.01mg/1以下(暫定) 14 抱水クロラール 0.02mg/1以下(暫定) 15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1以下 16 残留塩素 1 mg/1以下 17 カルシウム、マグネシウム等(硬度) 1 0mg/1以上100mg/1以下 18 マンガン及びその化合物 マンガンの量に関して、0.01mg/1以下 19 遊離炭酸 2 0mg/1以下 20 1, 1, 1-トリクロロエタン 0.3mg/1以下 21 メチルー・ナーブチルエーテル(MTBE) 0.02mg/1以下 22 有機物等(過マシカ゚ン酸カリウム消費量) 3mg/1以下 23 臭気強度(TON) 3以下 24 蒸発残留物 3 0mg/1以上200mg/1以下 25 濁度 1度以下 26 pH値 7.5程度 27 腐食性(ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力0に近づける	一削除	_
14 抱水クロラール0.02mg/1以下(暫定)15 農薬類検出値と目標値の比の和として、1以下16 残留塩素1 mg/1以下17 カルシウム、マが ネシウム等(硬度)1 0 mg/1以上100mg/1以下18 マンガン及びその化合物マンガンの量に関して、0.01mg/1以下19 遊離炭酸20mg/1以下20 1, 1, 1-トリクロロエタン0.3mg/1以下21 メチルー t - ブチルエーテル(MTBE)0.02mg/1以下22 有機物等(過マンカン酸カリウム消費量)3mg/1以下23 臭気強度(TON)3以下24 蒸発残留物30mg/1以上200mg/1以下25 濁度1度以下26 pH値7.5程度27 腐食性(ランゲリア指数)-1程度以上とし、極力0に近づける	12 二酸化塩素	0.6mg/1以下
15 農薬類 検出値と目標値の比の和として、1以下 16 残留塩素	13 ジクロロアセトニトリル	0.01mg/1以下(暫定)
16 残留塩素1 m g / 1 以下17 カルシウム、マグネシウム等 (硬度)1 0 mg/1以上100 m g / 1 以下18 マンガン及びその化合物マンガンの量に関して、0.01 m g / 1 以下19 遊離炭酸2 0 m g / 1 以下20 1, 1, 1-トリクロロエタン0.3 m g / 1 以下21 メチルー t ーブチルエーテル (MTBE)0.0 2 m g / 1 以下22 有機物等 (過マンカ゚ン酸カリウム消費量)3 m g / 1 以下23 臭気強度 (TON)3 以下24 蒸発残留物3 0 mg/1以上200 m g / 1 以下25 濁度1 度以下26 p H値7.5 程度27 腐食性 (ランゲリア指数)- 1 程度以上とし、極力0に近づける	14抱水クロラール	0.02mg/1以下(暫定)
17カルシウム、マグネシウム等 (硬度)10mg/1以上100mg/1以下18マンガン及びその化合物マンガンの量に関して、0.01mg/1以下19遊離炭酸20mg/1以下201,1,1-トリクロロエタン0.3mg/1以下21メチルー t -ブチルエーテル (MTBE)0.02mg/1以下22有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量)3mg/1以下23臭気強度 (TON)3以下24蒸発残留物30mg/1以上200mg/1以下25濁度1度以下26pH値7.5程度27腐食性 (ランゲリア指数)-1程度以上とし、極力0に近づける	15農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下
18 マンガン及びその化合物マンガンの量に関して、0.01mg/1以下19 遊離炭酸20mg/1以下201,1,1-トリクロロエタン0.3mg/1以下21メチルーtーブチルエーテル(MTBE)0.02mg/1以下22有機物等(過マンカン酸カリウム消費量)3mg/1以下23臭気強度(TON)3以下24蒸発残留物30mg/1以上200mg/1以下25濁度1度以下26pH値7.5程度27腐食性(ランゲリア指数)-1程度以上とし、極力0に近づける	16 残留塩素	1 m g / 1 以下
19遊離炭酸 20mg/1以下 201,1,1-トリクロロエタン 0.3mg/1以下 21メチル-t-ブチルエーテル (MTBE) 0.02mg/1以下 22有機物等 (過マンカ・ン酸カリウム消費量) 3mg/1以下 23臭気強度 (TON) 3以下 24蒸発残留物 30mg/1以上200mg/1以下 25濁度 1度以下 26pH値 7.5程度 27腐食性 (ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力0に近づける	17カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10mg/1以上100mg/1以下
201,1,1-トリクロロエタン 0.3mg/1以下 21メチル- t -ブチルエーテル (MTBE) 0.02mg/1以下 22有機物等 (過マンカ・ン酸カリウム消費量) 3mg/1以下 23臭気強度 (TON) 3以下 24蒸発残留物 30mg/1以上200mg/1以下 25濁度 1度以下 26pH値 7.5程度 27腐食性 (ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力0に近づける	18マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.01mg/1以下
21メチルー t -ブチルエーテル (MTBE) 0.02mg/1以下 22有機物等(過マンガン酸カリウム消費量) 3mg/1以下 23臭気強度 (TON) 3以下 24蒸発残留物 30mg/1以上200mg/1以下 25濁度 1度以下 26pH値 7.5程度 27腐食性 (ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力0に近づける	19遊離炭酸	20mg/1以下
22 有機物等(過マンカ`ン酸カリウム消費量) 3 m g / 1 以下 23 臭気強度(TON) 3 以下 24 蒸発残留物 3 0 mg/1以上200mg/1以下 25 濁度 1 度以下 26 p H値 7.5程度 27 腐食性(ランゲリア指数) - 1 程度以上とし、極力0に近づける	201,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/1以下
23 臭気強度 (TON) 3以下 24蒸発残留物 30mg/1以上200mg/1以下 25濁度 1度以下 26 pH値 7.5程度 27腐食性 (ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力0に近づける	21メチル- t -ブチルエーテル (MTBE)	0.02mg/1以下
24 蒸発残留物 30 mg/1以上200 m g/1以下 25 濁度 1度以下 26 p H値 7.5程度 27 腐食性 (ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力0に近づける	22 有機物等(過マンカン酸カリウム消費量)	3 m g / 1 以下
25 濁度 1 度以下 26 p H値 7.5程度 27 腐食性 (ランゲリア指数) -1程度以上とし、極力 0 に近づける		3以下
26 p H値7.5程度27 腐食性 (ランゲリア指数)-1程度以上とし、極力 0 に近づける	24蒸発残留物	30 mg/1以上200 m g/1以下
27 腐食性 (ランゲリア指数) -1 程度以上とし、極力 0 に近づける	25 濁度	1度以下
	26 p H値	7.5程度
28 従属栄養細菌 1 m l 中の検水で形成される集落数が 2,0 0 0 以下(暫定)	27腐食性 (ランゲリア指数)	-1程度以上とし、極力0に近づける
	28従属栄養細菌	1ml中の検水で形成される集落数が2,000以下(暫定)
29 1,1 - ジクロロエチレン 0. 1 m g / 1 以下	29 1,1 -ジクロロエチレン	0.1mg/1以下
30アルミニウム及びその化合物 アルミニウムの量に関して 0.1 mg/1以下	30アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して0.1mg/1以下
31 PFOS※及びPFOA [※] PFOS及びPFOAの量の和として0.00005mg/1以下(暫定)	31 PFOS*及びPFOA*	PFOS及びPFOAの量の和として0.0005mg/1以下(暫定)

※PFOS (ペルフルオロオクタンスルホン酸)、PFOA (ペルフルオロオクタン酸)

採水地点

(斜里町上水道)

浄水(絵	浄水 (給水栓水)				
採水地点	斜里郡斜里町本町12番地、斜里町役場庁舎				
選定理由	選定理由 公共の場所で、常時採水が可能で、比較的使用量が多く、水道水質把握の代表的な場所であることから				
原水(水	原水(水道水源)				
採水地点	斜里郡斜里町字来運、来運浄水場管理棟				
選定理由	浄水場に取水した原水で水質の把握の代表的な場所であることから				

(ウトロ簡易水道)

浄水(給	浄水 (給水栓水)				
採水地点	斜里郡斜里町ウトロ香川2番地、斜里町漁村センター				
1水/八元	斜里郡斜里町ウトロ西186番地、ウトロ道の駅				
選定理由	選定理由 公共の場所で、常時採水が可能で、水道水質把握の代表的な場所であること から				
原水(水道水源)					
採水地点	斜里郡斜里町ウトロ中島、ウトロ浄水場 着水井				
選定理由 浄水場に取水した原水で水質の把握の代表的な場所であることから					

5. 臨時の水質検査

次のような水質変化等が発生した場合は、直ちに水質検査を実施し、水質異常が終息し、 安全が確認されるまで行います。

- (1) 水源に著しく変化が見られたとき。
- (2) 給水栓水に異常が認められたとき。
- (3) 災害等発生時。
- (4) 必要があると認められたとき。

6. 試料採取及び運搬方法

(1) 試料容器の準備

受託者は、検査に必要な採水容器を用意する。 採水容器の洗浄については、受託者の責任において充分に行う。

(2) 採水方法等

受託者の試料取扱標準作業書に従い、依頼者側が採水を行う。 また、臨時検査等必要に応じて受託者の検査員が採水を行う場合がある。

(3) 運搬方法

採水が終了した後、速やかに受託者(検査機関)に引き渡し、クーラーボックスに

入れ氷冷し破損防止の措置をして受託者が運搬する。 運搬経路は、(別紙運搬ルートのとおり)

7. 委託した検査の実施状況の確認方法

- (1) 内部精度管理、外部精度管理の実施状況の確認
- (2)検査結果以外にも、分析日時及び分析を実施した検査員を示し試料、分析条件、 検量線(相関関係も含む)、クロマトグラム並びに濃度計算書等を電磁媒体で提出 を求め、確認する。

8. 水質検査の方法

(1日1回行う検査項目)

斜里町水道課の職員で行います。

- 1. 残留塩素の測定は残留塩素計で行います。
- 2. 濁りは外観目視で行います。

(定期検査)

委託により行います。委託先は水道法第20条第3項に定める登録機関とします。 委託先:一般財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター

9. 水質検査計画及び検査結果の公表

水質検査計画は毎事業年度開始前に作成し、町ホームページ上で公表をしますので、ご意見をお寄せ下さい。

ご意見は今後の水質検査計画策定に当たり参考とさせていただきます。

検査結果を基に、必要があれば検査計画を見直していきます。

検査結果についても同様、町ホームページ上で公表します。

10. その他

- (1) 常に安全で満足してもらえる水道水を供給いたします。
- (2) 水道水質の信頼性を確保するため、関係する検査機関と連携して技術の向上に努めます。
- (3) 水道事故等が発生したときは、保健所、検査機関と連携し早期の復旧につとめます。
- (4) 住民の疑問点、不明点につきましては早急に対応いたします。

(お問い合わせ先) 〒099-4192

斜里郡斜里町本町12番地 斜里町役場 産業部 水道課 TEL 0152-26-8384, 26-8385

(別紙) 運搬ルート

```
1. 斜里町
(クーラーボックスで氷冷)
出発
国道334号線
国道333号線
旭川紋別自動車道(遠軽インター)
道央自動車道(札幌インター)
地方道89号線(環状通)
道薬検到着
 \downarrow
検査開始
2. 斜里町
(クーラーボックスで氷冷)
出発
国道334号線
美幌バイパス
女満別空港
JALカーゴにて千歳まで空輸
道央道 • 札幌市内一般道
道薬検到着
 \downarrow
検査開始
```

◎受託者の試料取扱標準作業書に従い斜里町産業部水道課の職員が採水し、速やかに受託者に引き渡し、クーラーボックスに入れ氷冷し破損防止の措置をして受託者が運搬する。 (旭川紋別自動車道及び道央自動車道を使用して約5時間、ただし天候・道路の状況により JAL カーゴ等変化することがある)

JALカーゴを使用する場合も約5時間。